

2017年度
GOOD FACTORY 賞

応募要項
(早期案内)

一般社団法人日本能率協会
GOOD FACTORY 賞事務局

目 次

1. 応募資格	4
2. 表彰対象	4
3. 賞の種類	4
4. 受賞件数	4
5. 審査機関	4
6. 審査方法	4
7. 審査の要件	5
8. 受賞後の公表	6
9. 特典	7
10. 応募の条件	7
11. 今後の予定	7
12. これまでの受賞企業	8
13. 備考	10
14. 応募先（事務局）	10
15. 審査委員会	11
正式応募申込書	12～13

GOOD FACTORY 賞とは

今、多くの日本製造業が中国・アジア新興国にもものづくりの拠点を展開し、現地の方々の協力のもと、日夜ものづくりに励んでいます。さらに、日本国内においては、厳しい事業環境の中、製造現場を何とか日本に残そうと、他社・他国に負けないものづくりを追求し、たいへんな努力をされています。

こうした中、日本能率協会ではこれまでも日本製造業のものづくり力強化へ向けた様々な取り組みを実施してまいりましたが、2011年から新たにアジアワイドで優良工場表彰制度を導入しております。

この表彰制度は、国内外を問わず各地域で工場の生産性向上、品質向上をはじめ様々な体質革新活動へ取り組まれている事例に着目し、そのプロセスや成功要因、現場の知恵、働く方々の意識改革、社会的貢献などの内容を幅広く取り上げ、その成果を日本製造業の範として顕彰させていただくものです。GOOD FACTORY 賞とは、これらの表彰制度の総称です。

GOOD FACTORY 賞は、

- ①ものづくりプロセス革新賞
- ②ものづくり人材育成貢献賞
- ③ものづくりCSR貢献賞
- ④ファクトリーマネジメント賞

の4つの賞で構成されており、貴社の工場・事業所において、上記のいずれか1つでも優れて自慢できる要素があれば、応募できる点が大きな特徴です。

この機会に是非、多くの工場・事業所の積極的な応募をお待ちします。

備考：

1. 2011年～2015年の5年間に、すでに32工場が GOOD FACTORY 賞を受賞されています。(8～10ページ参照)
2. 「GOOD FACTORY 賞」は、特許庁の商標登録です。

1. 応募資格

中国・アジア地域、に進出している日系現地企業・工場ならびに日本国内工場（日系現地企業の場合、日本企業の出資比率は概ね50%以上を想定します。）

2. 表彰対象

応募されたテーマの活動およびその成果によって、工場・事業所が総合的に改善・強化されたり、地域・従業員との強い結びつきができたりして、グローバルな視点で日本のものづくりの優秀なモデルとして他社の範となる工場・事業所

3. 賞の種類

①ものづくりプロセス革新賞

IE改善、ITの適用、品質保証、工程改善、SCM改善、JIT、調達革新、物流革新、自動化など工場・事業所の“ものづくりプロセス”が総合的に改善・強化されている内容を表彰します。

②ものづくり人材育成貢献賞

全員参加の改善活動、技能伝承、能力開発への取り組み、従業員育成、など質の高いものづくりを実現するための“人材育成”に組織的に取り組まれている内容を表彰します。

③ものづくりCSR貢献賞

CSR、環境対応、省エネ、福利厚生、地域社会との結びつきなど、ものづくりを側面から支える“CSR”に積極的に取り組まれている内容を表彰します。

④ファクトリーマネジメント賞

総合的に“工場マネジメントの仕組みとその運営”のレベルが高く、全体にバランスのとれた“工場マネジメント”の良さ、といった内容を表彰します。

4. 受賞件数

5～6件程度（審査委員会の決定による。）

5. 審査機関

学識経験者と専門家（コンサルタント）で構成される「GOOD FACTORY 賞 審査委員会」（11ページ 審査委員一覧 参照）

6. 審査方法

(1) 一次審査（書類審査）

①フォーマットに従って提出された書類による審査を行います。

<フォーマットの主な内容>

- a.工場・事業所の特徴
- b.活動を進めるしくみ
- c.活動を進めた背景
- d.活動の実施内容
- e.活動の成果
- f.今後の方向
- g.まとめ

(2) 二次審査（現地審査）

一次審査を通過した工場・事業所については、現地での確認を行います。現地審査の日程については、応募工場・事業所の希望日程と審査委員の日程を調整のうえ、決定いたします。

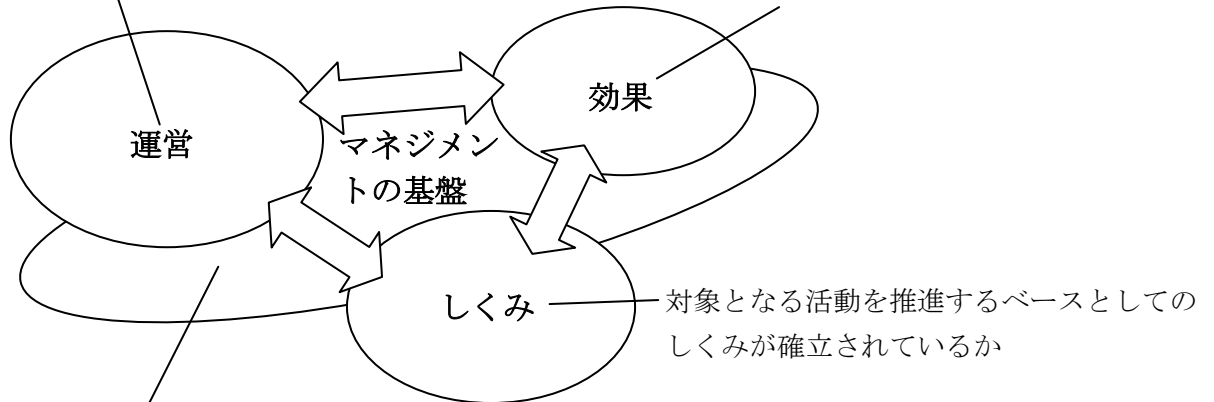
(3) 最終審査（最終判定）

二次審査の結果を踏まえて、審査委員会で最終判定します。

7. 審査の要件（4つの審査視点）

対象となる活動が日常の業務の中で
いかに運営されているか

対象となる活動の目標が達成され、
効果が高いと認められるか



対象となる活動を積極的に推進する
マネジメント基盤が形成され展開されていること

(1) しくみ・・・対象となる活動を推進するベースとしてのしくみが確立されている

① 活動計画化のしくみ

- 1) 事業所のビジョンを明確化する活動計画作成のしくみがある
- 2) 的確な活動計画を策定する組織的しくみがある

② 活動実践のしくみ

- 1) 活動の内容・方法や期待値等の情報を関係者に事前に十分提供している
- 2) 職場管理者が、活動のなかで部下の活動を支援するしくみがある

③ 活動の評価するしくみ

- 1) 活動の推進過程で関係者の意見を把握し評価するしくみがある
- 2) 活動の実施目的の達成度を、実施責任者が客観的に把握している
- 3) 活動の評価を計画にフィードバックするしくみがある

- (2) 運営・・・事業所戦略と対象となる活動が密接に関連して推進されている
 - ① 事業所ビジョンの明確化と対象となる活動の連動
 - 1) 事業所のビジョン・事業計画が明示されている
 - 2) 事業ビジョンが事業所内に浸透し、かつ共感をもたれている
 - ② 戦略と実践
 - 1) 部署別・階層別の活動の重点が把握されている
 - 2) 活動が職場の問題解決に反映されている

- (3) 効果・・・対象となる活動の目標が達成され、効果が高いと認められる
 - ① 活動の成果
 - 1) 活動の成果が工場・事業所全体に波及し、工場・事業所の経営指標に反映されている
 - 2) 工場・事業所の体質と価値観が新しい世代にも共有・継承されている
 - ② 職場高度化の成果
 - 1) 効果測定の結果、職場の高度化への成果が出ている
 - 2) 革新活動の成果を職場で報告・公開している

- (4) マネジメントの基盤・・・対象となる活動を積極的に推進するマネジメントの基盤が形成され展開されている
 - ① 活動に対する事業所トップ・幹部の姿勢
 - 1) 工場・事業所トップ・幹部が、本活動を通して工場・事業所を変えていくことにより、変革を柔軟に受け入れる風土づくりができると考えている
 - 2) 工場・事業所トップ・幹部が、中・長期的視点で継続的な活動展開につながることを意識づけている、またそのしゅきがある
 - 3) 工場・事業所トップ・幹部が常に高い目標を掲げている
 - ② 活動に対する社員の意識・行動
 - 1) 社員が意欲的に自己の活動目標を立てている
 - 2) 社員が自己の行動を全体成果に活かそうと行動している

8. 受賞後の公表

- (1) 表彰式および事例発表
 - ① 表彰式は、10月に東京で行います。(2017年10月を予定)
表彰式には、工場・事業所代表者1名および当該活動の実施責任者1名の計2名以上の出席が必要です。
 - ② 表彰式の翌日、および翌々日に受賞企業代表者による受賞記念講演会を開催します。
発表時間は、正味60分を予定。この受賞記念講演会は、広く外部に公開いたします。

(2) 新聞・雑誌への受賞記事掲載

①受賞工場・事業所の概要は、記者発表会で広く公表します。合わせて、日経産業新聞の10月1日付け朝刊に受賞企業の記事広告を掲載します。

なお、この記事広告の製作にあたっては、受賞各社に版下作成のご協力をお願いいたします。

②JMAの会員向け機関誌に同様の内容を掲載します。

③工場の所在地域のメディアにニュースリリースを提供し、地域の人々にも広く受賞を公表します。

(3) GOOD FACTORY 賞のホームページで受賞記事を紹介します。

[GOOD FACTORY 賞](#) [検索](#)

9. 特典

受賞の記念盾と表彰状（日本文・英文）を贈呈します。

10. 応募の条件（必ずご確認ください。）

(1) 審査に関わる費用は、現地審査も含めてすべてJMAが負担いたします。

(2) 受賞された場合、東京で行われる受賞式に必ずご出席いただきます。

その際の交通費、宿泊費等につきましては、各社にてご負担いただきます。

(3) 受賞された場合、東京での受賞記念講演会で、受賞内容についてご発表いただきます。

(4) 受賞された場合、新聞各社およびJMA広報の取材等に応じていただく場合があります。

(5) 受賞された場合、自社の広告、パンフレット等にGOOD FACTORY 賞のロゴ等を使用される場合は、事前に必ず事務局の許可を得てください。

11. 今後の予定

(1) 応募の締め切り 2016年12月19日（月）（メール添付にて事務局必着）

(2) 審査書類の締め切り 2017年4月3日（月）（メール添付にて事務局必着）

(3) 第一次審査（書類審査） 4月中旬～下旬

(4) 第二次審査（現地審査） 5月～6月

①1社につき、現地審査は正味1日（原則9:30~16:30）。

②日程については、別途調整させていただきます。

③審査委員2名、事務局1名（JMA職員）

(5) 最終判定 7月中旬

(6) 事例発表資料の準備 8月～9月

(7) 新聞記事広告の準備 8月～9月

(8) 表彰式・受賞記念懇親会・事例発表会のご案内 9月末

(9) 新聞記事広告 10月1日（日）日経産業新聞（予定）

- (10) 表彰式 10月16日(月) 17:15~18:00(予定)
 (11) 受賞記念懇親会 10月16日(月) 18:00~19:30(〃)
 (12) 受賞記念講演会 10月17日(火) 10:00~17:00(〃)
 いずれも 東京都内会場(〃)

12. これまでの受賞企業

2015年(第5回)

受賞企業名(社名五十音順)	受賞部門	所在地
コマツ 栗津工場 新組立工場	ものづくり CSR 貢献賞	日本 (石川県)
ダイキン工業株式会社 DAIKIN INDUSTRIES (THAILAND) LTD.	ファクトリーマネジメント賞	タイ (チョンブリー)
株式会社デンソー DENSO (THAILAND) CO., LTD.	ファクトリーマネジメント賞	タイ (チョンブリー)
株式会社東芝 東芝キャリア(株) 富士工場	ものづくり人材育成貢献賞	日本 (静岡県)
東レ株式会社 Penfabric Sdn. Berhad (PAB)	ファクトリーマネジメント賞	マレーシア (ペナン)
トヨタ紡織株式会社 広州桜泰汽車飾件有限公司	ものづくりプロセス革新賞	中国 (広州)
日産自動車株式会社 SNN TOOLS & DIES CO., LTD.	ファクトリーマネジメント賞	タイ (サムプラーコン)
日立オートモティブシステムズ株式会社 日立汽車系統(蘇州)有限公司	ものづくり人材育成貢献賞	中国 (広州)

2014年(第4回)

受賞企業(社名五十音順)	受賞部門	所在地
ダイキン工業株式会社 大金空調(上海)有限公司	ファクトリーマネジメント賞	中国 (上海)
東レ株式会社 東麗塑料(深圳)有限公司	ファクトリーマネジメント賞	中国 (深圳)
日本電気株式会社 NEC Platforms Thai Co., Ltd.	ものづくり人材育成貢献賞	タイ (パツムタニ)
日立金属株式会社 Hitachi Metals (Thailand) Ltd.	ファクトリーマネジメント賞	タイ (アユタヤ)
株式会社ミスミグループ本社 株式会社駿河生産プラットフォーム	ものづくりプロセス革新賞	日本 (静岡県)

2013年(第3回)

受賞企業 (社名 五十音順)	受賞部門	所在地
味の素株式会社 タイ味の素社 カンペンペット事業所	ものづくりCSR貢献賞	タイ (カンペンペット)
小島プレス工業株式会社 本社・下市場工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (愛知)
株式会社東芝 セミコンダクター&ストレージ社 四日市工場	ファクトリーマネジメント賞	日本 (三重)
株式会社東芝 東芝情報機器杭州社 (TIH)	ものづくりプロセス革新賞	中国 (杭州)
トヨタ自動車株式会社 Toyota Kirloskar Motor Private Ltd. (TKM)	ものづくり人材育成貢献賞	インド (バンガロール)
三菱電機株式会社 Siam Compressor Industry Co., Ltd. (SCI)	ファクトリーマネジメント賞	タイ (チョンブリー)

2012年 (第2回)

受賞企業名 (社名五十音順)	受賞部門	所在地
東レ株式会社 P.T. Easterntex	ファクトリーマネジメント賞	インドネシア (スラバヤ)
東レ株式会社 東麗合成繊維(南通)有限公司	ものづくり人材育成貢献賞	中国 (南通)
トヨタ紡織株式会社 Toyota Boshoku Gateway(Thailand)Co., Ltd.	ものづくりプロセス革新賞	タイ (ゲートウェイ)
日産自動車株式会社 東風日産乗用車公司 広州風神汽車有限公司	ファクトリーマネジメント賞	中国 (広州)
パナソニック株式会社 広州松下空調器有限公司	ものづくりプロセス革新賞	中国 (広州)
富士通株式会社 (※2社の共同応募) (株)島根富士通 富士通アイソテック(株)	ものづくりCSR貢献賞	日本(島根) 日本(福島)

2011年（第1回）

受賞企業名（社名五十音順）	受賞部門	所在地
オリンパス株式会社 会津オリンパス株式会社	ものづくりプロセス革新賞	日本 (福島県)
株式会社東芝 東芝情報機器フィリピン社(Toshiba Information Equipment (Phils.),Inc. (TIP))	ファクトリーマネジメント賞	フィリピン
トヨタ自動車株式会社(※2社の共同応募) Toyota Motor Asia Pacific Eng. & Mfg. (TMAP-EM) Toyota Motor Thailand (TMT)	ものづくり人材育成貢献賞	タイ
富士ゼロックス株式会社 Fuji Xerox of Shenzhen Ltd.	ものづくりCSR貢献賞	中国 (深圳)
ヤマハ株式会社 P.T. Yamaha Music Mfg. Asia (YMMA)	ものづくり人材育成貢献賞	インドネシア

13. 備考

- (1) 応募された工場・事業所については一切公表しません。(受賞された場合のみ公表)
- (2) 受賞工場・事業所の受賞理由を公表します。
- (3) 受賞の有無に関わらず、応募事業所には、評価の視点とこれから取り組むべき課題を「審査所見」にまとめ提供します。
- (4) 応募申込書、審査書類などの締切日は厳守願います。合否判定の「参考」となります。

14. 応募先（事務局）

一般社団法人日本能率協会
GOOD FACTORY 賞 事務局
〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22
TEL：070-6997-1342
FAX：03-3434-3593
Email：seisan@jma.or.jp

15. 審査委員会（参考；2017年の一部変更になる場合がございます。）

2016 GOOD FACTORY 賞
審査委員会 委員一覧

（敬称略）

委員長	電気通信大学 情報理工学研究科 教授	新 誠一
委員	日本大学 工学部機械工学科 教授 工学研究所 次長	柿崎 隆夫
	東京工業大学 大学院社会理工学研究科 教授	伊藤 謙治
	慶応義塾大学大学院 経営管理研究科 教授	坂爪 裕
	株式会社日本能率協会コンサルティング 常任顧問 シニアコンサルタント	齋藤 彰一
	株式会社日本能率協会コンサルティング シニアコンサルタント	石山 真実
	株式会社日本能率協会コンサルティング シニアコンサルタント	石田 秀夫
名誉委員	法政大学 副学長	福田 好朗
	生産技術情報センター 代表	梶 文彦
担当理事	一般社団法人日本能率協会 理事・事務局長 JMAマネジメント研究所 所長	武中 和昭
事務局	一般社団法人日本能率協会 JMAマネジメント研究所 主管研究員	廣瀬 純男

2016年 月 日

〒105-8522
東京都港区芝公園3-1-22
一般社団法人日本能率協会
JMAマネジメント研究所
GOOD FACTORY 賞 事務局 行き

2017 GOOD FACTORY 賞 正式応募申込書

標記の件について、下記のとおり応募いたします。

応募の種類 ・ものづくりプロセス革新賞 ・ものづくり人材育成貢献賞
・ものづくり CSR 貢献賞 ・ファクトリーマネジメント賞
(該当を○印で囲んでください。)

(代表者)

貴社名

お名前

ご所属・お役職

(連絡担当者)

お名前

ご所属・お役職

所在地 〒

TEL

FAX

E-mail

(備考) 応募の種類については、最終的に審査委員会にて判断させていただくため、貴社のご希望通りにならない場合がございます。あらかじめご了承ください。

(※次ページもご記入ください。)

(ご応募いただく工場・事業所)

名 称 _____

工場所在地 _____

代表者 _____

連絡担当者名 _____

ご所属・お役職 _____

TEL _____ FAX _____

メールアドレス _____

応募・推薦の理由 (特に優れている点)

* 恐れ入りますが、2016年12月19日(月)(事務局必着)にてご送付くださいますようお願い申し上げます。